

第179回
全国都道府県議会議長会
定 例 総 会 会 議 録

令和 6 年10月 31日

於 山 形 県

全国都道府県議会議長会



第179回全国都道府県議会議長会 定例総会 正副議長記念撮影

令和6年10月31日 於 ホテルメトロポリタン山形

第179回

全国都道府県議会議長会

定例総会会議録

第179回全国都道府県議会
議長会定例総会出席者

第179回全国都道府県議会議長会定例総会出席者

令和6年10月31日

北海道議会議長	富原 亮 君
青森県議会議長	丸井 裕 君
岩手県議会議長	工藤 大輔 君
秋田県議会議長	北林 丈正 君
山形県議会議長	森田 廣 君
山形県議会副議長	矢吹 栄修 君
福島県議会議長	西山 尚利 君
東京都議会議長	宇田川 聡史 君
神奈川県議会議長	柳下 剛 君
千葉県議会議長	瀧田 敏幸 君
茨城県議会議長	半村 登 君
埼玉県議会議長	齊藤 邦明 君
群馬県議会議長	須藤 和臣 君
山梨県議会議長	卯月 政人 君
長野県議会議長	山岸 喜昭 君
新潟県議会議長	皆川 雄二 君
愛知県議会副議長	新海 正春 君
三重県議会議長	稲垣 昭義 君
静岡県議会議長	落合 愼悟 君
岐阜県議会議長	水野 正敏 君
富山県議会議長	山本 徹 君
石川県議会議長	善田 善彦 君
福井県議会議長	宮本 俊 君
京都府議会議長	石田 宗久 君
兵庫県議会副議長	谷井 いさお 君
奈良県議会副議長	川口 延良 君
和歌山県議会議長	鈴木 太雄 君
滋賀県議会議長	有村 國俊 君

広島県議会議長	中本隆志君
岡山県議会議長	久徳大輔君
鳥取県議会議長	浜崎晋一君
島根県議会議長	中島謙二君
山口県議会副議長	島田教明君
香川県議会議長	松原哲也君
徳島県議会議長	元木章生君
高知県議会議長	加藤 漠君
愛媛県議会議長	三宅浩正君
福岡県議会議長	香原勝司君
大分県議会議長	嶋 幸一君
佐賀県議会議長	大場芳博君
長崎県議会副議長	吉村 洋君
宮崎県議会副議長	野崎幸士君
熊本県議会議長	山口 裕君
鹿児島県議会副議長	永井章義君
沖縄県議会議長	中川京貴君

ほか事務局出席者 126名

総 員 171名

第179回全国都道府県議会
議長会定例総会記事

第179回全国都道府県議会議長会定例総会記事

(令和6年10月31日午後2時)

※本会議の記事内容詳細は別途速記録参照

1 開 会

高原剛全国都道府県議会議長会事務総長が開会を告げた。

2 あいさつ

森田廣山形県議会議長、山本徹会長（富山県議会議長）、吉村美栄子山形県知事、高倉正則山形市副市長があいさつを述べた。

3 祝 辞

丸井裕青森県議会議長が石破茂内閣総理大臣のメッセージを披露した。続いて、原邦彰総務審議官が村上誠一郎総務大臣の祝辞を代読した。

4 祝 電

高原事務総長が参議院議長の祝電を披露した。

5 自治功労者表彰

山本会長があいさつを述べたのち、議長在職5年以上の特別功労者として中本隆志広島県議会議長を表彰した。その後、永年勤続功労者144名の表彰を行うとともに、猫田孝岐阜県議会議員（議員在職50年以上）が受章者を代表して、御礼のあいさつを述べた。

〔全国議長会事務局が休憩を宣告した。（午後2時54分）〕

〔高原事務総長が再開を宣告した。（午後3時10分）〕

6 新任正副議長紹介

高原事務総長が7月24日の第178回定例総会以降に就任した正副議長を紹介した。

続いて、高原事務総長が、本会会則第16条の規定に基づき、開催ブロックで森田山形県議会議長を総会議長とするとともに、丸井青森県議会議長を総会副議長とすることに決定されている旨述べた後、森田山形県議会議長が総会議長席に着

いた。

7 議 事

(1) 議案審議

①役員会提出議案

役員会提出の6件の決議案の趣旨を富原亮北海道議会議長が説明したのち、採決の結果、原案のとおり決定した。

なお、決議に係る審議では、欠席の中谷恭典大阪府議会議長から、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」の厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する意見が文書で提出されている旨、事務局が報告した。

②各委員会提出議案

各委員会提出の「令和7年度政府予算編成に関する提言（案）」について、各委員会の委員長等から委員会審査の経過並びに結果を報告したのち、採決の結果、原案のとおり決定した。

なお、提言に係る審議では、欠席の中谷大阪府議会議長から、地方自治委員会提出の提言に含まれる厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する意見が文書で提出されている旨、事務局が報告した。

(2) 令和7年に地方で開催する第182回定例総会開催地の決定

森田総会議長が「役員会の協議に基づき、関東ブロックの神奈川県で開催することとしたいが、御異議ないか。」旨述べ、諮った結果、全員異議なく決定したのち、柳下剛神奈川県議会議長があいさつを述べた。

8 報 告

(1) 地方創生懇談会について

(2) 第24回都道府県議会議員研究交流大会について

(3) 主権者教育の推進について

(4) 三議長会による厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議（素案）について

(5) 標準傍聴規則及び議会個人情報保護条例（例）等の改正について

高原事務総長が報告を行った。

9 地元議長あいさつ

森田山形県議会議長が、議事が滞りなく終了したことに対し、謝意を表した。

10 閉 会

高原事務総長が閉会を宣告した。（午後 3 時59分）

11 講 演

株式会社SHONAI代表取締役の山中大介氏が「地方の可能性を世界経済とつなぐ」と題して講演を行った。

（午後 4 時14分～ 5 時24分）

第179回全国都道府県議会
議長会定例総会議事録
(速 記 録)

令和6年10月31日(木)

午後2時00分 開 会

開 会

○全国議長会事務総長（高原 剛君）事務総長の高原でございます。

ただいまから、第179回全国都道府県議会議長会定例総会を開会いたします。

しばらくの間、会議の進行役を務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。（拍手）

あ い さ つ

（１）地 元 議 長

○全国議長会事務総長（高原 剛君）はじめに、開催地議会であります山形県議会の森田廣議長から、ごあいさつをいただきます。

森田議長、よろしくお願いいたします。

○山形県議会議長（森田 廣君）ただいま御紹介いただきました、山形県議会議長の森田廣でございます。

あいさつに先立ちまして、一言、地震や大雨によりお亡くなりになりました方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興を心からお祈りするところでございます。

それでは、第179回全国都道府県議会議長会定例総会の開催に当たり、開催地の議長として一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、ようこそ山形県にお越しいただき、誠にありがとうございます。今回、全国の都道府県議会の議長及び副議長の皆様方をお迎えし、このように盛大に定例総会を開催できますことは誠に光栄であり、皆様方の御来県を心より歓迎いたします。

また、本日、長年にわたり地方自治の発展に御尽力された功績により、自治功

労者として栄えある表彰をお受けになられます方々の御苦勞と御功績に対し、深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

さらに、この定例総会に御来賓としてお越しく下さいました総務省の原総務審議官、本県の吉村知事、そして山形市の高倉副市長におかれましては、公務御多忙の中、御臨席たまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、近年は地震や豪雨などによる災害が多く発生しております。今年1月1日には能登半島地震が発生し、400名を超える方々がお亡くなりになりました。また、本県においても7月の大雨により、3名の方がお亡くなりになり、被害額は統計開始以降、県内で発生した自然災害では過去最大となる甚大な被害を受けました。

このように自然災害が頻発化・激甚化しており、国土強靱化の加速化は喫緊の課題であります。また、「静かなる有事」とも言われる急激な人口減少への対応をはじめ、地域においては様々な課題が山積しております。こうした課題に対しでは、政府においても各種施策が検討されているところではありますが、地域住民の求める安全・安心な暮らしのためには、私たち地方議会が一丸となって必要な施策を提案していくことが重要であります。

本日の定例総会では、役員会や各委員会から提案された決議や提言が議論されます。議決された決議、提言をしっかりと政府に届け、地方にとって真に必要な施策を発信する機会にしていきたいと考えております。この会議を通して、都道府県議会の連携がより一層深まり、各地域のますますの発展につながることを祈念しております。

結びに、御参集の皆様方の御活躍と御健勝を心より祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。（拍手）

（２）会 長

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、山本徹会長から、ごあいさつをいただきます。

山本会長、よろしくお願いいたします。

○全国議長会会長（山本 徹君）会長を務めております、富山県議会議長の山本徹でございます。

全国の議長、副議長の皆様方には、総選挙が終わり、地元がまだバタバタしている大変お忙しい中、本定例総会に御出席いただき、心より感謝申し上げる次第でございます。

また、御来賓として、吉村山形県知事、高倉山形市副市長、村上総務大臣の代理の原総務審議官に御臨席たまわっております。御来賓の皆様方には公務極めて御多忙のところ、御臨席たまわり、深く感謝申し上げます。

はじめに、先月の能登半島での大雨など相次ぐ自然災害によりお亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた皆様方にお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧・復興を皆様方とともに祈りたいと思います。去る10月24日、石川県議会の善田議長に、本会から災害見舞金を贈呈いたしましたことを御報告いたします。

山形県で開催する定例総会は、昭和48年以来となりますが、開催地の山形県議会の森田議長をはじめ、北海道東北ブロックの各議会の皆様の格別の御尽力に、心から感謝申し上げます。

27日の日曜日に衆議院議員選挙が執行されました。結果は皆様御承知のとおりでございます。大きな混乱が予想される事態となりました。しかし、我が国は多くの課題を抱えており、その解決は待ったなしの状況です。このタイミングで皆様に御審議いただく決議、提言は非常に重要なものとなります。

私は、これまでも日本を元気にするためには、地方の元気が不可欠であると申し上げてまいりました。

しかし、少子化の問題等については、大変厳しい現状であると言わざるを得ないと思っております。御承知のとおり、令和4年には、全国の出生数が80万人を割りました。将来人口推計から見ると、11年早く80万人を割りました。これは大変危機的な状況でございます。人口減少に歯止めをかけるラストチャンスと言いながら、本当に大丈夫かと言いたくなるような状況でございます。

本日は、東京都議会の宇田川議長に御出席いただいておりますが、東京圏への一極集中にも歯止めがかかっておりません。J R神戸線の中づり広告に、「東京

都で先生をしませんか」という東京都教育委員会の広告が出ました。全国で人材の取り合いが激しさを増している状況であります。東京都の立場になって見れば、この広告も理解できる話です。人口が集中しているため、東京都だって先生が足りないわけです。集中が集中を呼んでいる今の状況は、やはり行き過ぎではないかと心配しているわけでございます。

人、物、仕事、あるいは情報や高度な技術などが集中し、我が国の経済をけん引していったり、国力を増強していったりする役割が首都圏にあることはよく分かりますし、それを否定するものではありません。しかし、適切な集中というものがあると思います。東京圏が立ち行き、地方も立ち行き、そして私たちの日本が立ち行く。

そういう方向性が見い出せないものかという思いで7月に立ち上げた地方創生懇談会では、議会の考え方や思いも交えながら議論を進めているところであります。国の問題に対する方策を取りまとめ、来年1月を目途に、政府へ提言できるよう取り組んでまいります。

加えて、地方議会に関する課題の解決に向けては、各議会と議長会が連携して取り組んでいく必要があります。

地方議会への多様な人材の参画の実現については、全国市議会議長会、全国町村議会議長会とともに国民運動として取り組んでいる主権者教育の推進に、特に力を入れております。現在は、若者により関心を持っていただけるようなリーフレットを作成しているところです。こうした取組を1つ1つ積み重ねていくことで、未来を担う子どもたちが自らの地域に目を向け、地域に愛着を持ち、ひいては地方議会に対する関心が高まり、理解も深まるものだと考えております。

主権者教育の推進については、皆様におかれましても、引き続き、積極的な取組をよろしくお願いいたします。

また、多様な人材が地方議会に立候補しやすくなる環境整備も重要な課題です。

去る7月24日の定例総会では、各議会が地域の経済団体に、企業の就業規則において立候補に伴う休暇制度を創設することなどの働きかけをお願いし、早速、議長自ら働きかけを行っていただくなど御報告をいただいておりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

住民の自治に対する意識が高まり、各地域に住む住民が地域のことを考え自ら

行動する、この本来の姿を取り戻し、現在の地方自治の危機的状況を少しでも改善できるよう努めてまいります。

これから年末年始にかけて、来年度の政府の予算について、国などで会議が行われます。その際には、本会の主張を伝える機会もあります。本日御審議いただく決議や提言事項も踏まえ、地方の願いや思い、現場の声をしっかりと国に届けてまいりますので、皆様の御支援、御協力をあらためてお願い申し上げ、私からのごあいさつとさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

（３）地 元 知 事

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、御来賓の方々から、ごあいさつをいただきます。

まず、山形県の吉村美栄子知事から、ごあいさつを頂戴したいと存じます。

吉村知事、よろしくお願いいたします。

○山形県知事（吉村 美栄子君）皆様、こんにちは。山形県知事の吉村美栄子でございます。

第179回全国都道府県議会議長会定例総会の御開催、誠におめでとうございます。ここ山形で盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。皆様、ようこそ山形県にお出でくださいました。県民を代表し心から歓迎申し上げます。

そして、本日、自治功労者表彰ということで栄えある表彰を受けられる皆様、本当におめでとうございます。皆様のますますの御活躍を祈念申し上げます。

さて、今年はじめの能登半島地震の発生や大雨など、近年、全国各地において自然災害が激甚化・頻発化しております。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本県におきましても、7月の大雨により甚大な被害を受けております。その際、全国から多くの災害義援金や励ましのことばをいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

発災から3か月が経過し、一時避難所もようやく閉鎖となりましたが、被災者

の生活再建や災害復旧事業にスピード感を持って着実に取り組むため、これまで設置していた災害対策本部から、復旧・復興対策会議に移行いたしました。被災された皆様が1日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、引き続き、復旧・復興に向けて県を挙げて全力で取り組んでまいります。

このような自然災害をはじめ、多くの全国的な課題が顕在化するなか、政府の施策と連携し、地域の実情に応じた対策を講じることが求められております。本日、全国の都道府県議会の議長、副議長の皆様が一堂に会され、幅広く御議論いただきますことは大変意義深く、現在直面する課題の解決につながるものと、大きな期待を寄せているところであります。皆様におかれましては、活発に御議論いただき、本日の会議が有意義なものとなりますことを心から祈念申し上げます。

さて、山形県は、世界にも誇れる食の宝庫でございます。今まさに実りの秋を迎えておりまして、山形のブランド米である「つや姫」や「雪若丸」の新米、西洋なしの「ラ・フランス」、りんご、ぶどうの「シャインマスカット」などの旬の果物が店頭に並んでおりますので、是非、この機会に御賞味ください。

「雪若丸」は、この度、一等米比率で全国第1位となりました。昨年は猛暑で一等米比率が下がりましたが、ようやく復活し、ほっとしております。

また、山形と言えば、日本一の生産量を誇るさくらんぼですが、来年は、さくらんぼの栽培開始から150周年を迎えます。この記念すべき年を「やまがたフルーツ150周年」として、やまがたフルーツの魅力を全国の皆様にお届けしてまいりますので、是非、季節折々のフルーツを味わいに、また山形にお越しいただければ幸いです。

県内に35市町村ございますが、全てに温泉が湧いている温泉王国でもあります。

それから、日本酒とワインについて、地理的表示であるG Iを取得しております。大変おいしいので、たくさんお召し上がりいただき、お土産によろしく願います。

それから、「ラーメン県そば王国」として商標登録をいたしました。山形県は10万人当たりのラーメン店の店舗数が全国1位、山形市はラーメンの1世帯当たりの支出額が全国1位です。また、そば街道というものが13か所あります。ラーメンやそばが好きな方にはたまらない県でございます。

芋煮も今がシーズンで大変おいしいので、是非お召し上がりください。

山形の魅力を堪能していただけますと大変幸いです。

結びに、本日の会議が実り多きものとなりますとともに、全国都道府県議会議長会のますますの御発展と、本日御参加の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、あいさついたします。

本日は誠にありがとうございます。（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）ありがとうございました。

（４）地 元 市 長

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、山形市の佐藤孝弘市長から、ごあいさつを頂戴したいと存じます。

本日は、代理として高倉正則副市長に御臨席いただいております。

高倉副市長、よろしくお願いいたします。

○山形市副市長（高倉 正則君）皆様、こんにちは。山形市副市長の高倉と申します。

本日は、全国都道府県議会議長会定例総会の御開催、誠にありがとうございます。

佐藤市長に御案内いただきましたが、中核市市長会の会議に参加しており、こちらの出席ができませんので、祝辞を預かっております。私から代読させていただきます。

祝辞。

第179回全国都道府県議会議長会定例総会に当たり、開催地を代表し、一言ごあいさつを申し上げます。

歴史と伝統ある全国都道府県議会議長会定例総会が山形市で開催されますことは誠に喜ばしく、全国各地よりお越しいただきました皆様を、心より歓迎申し上げます。

また、皆様におかれましては、日頃より地方自治の発展に向け、様々な分野で御活躍され、地域の発展と住民生活の質の向上に大きく御貢献いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国は人口減少に歯止めがかからず、地方にとっては厳しい状況が続いていますが、山形市では、将来にわたって元気で活力あるまちであり続けるために、健康医療先進都市と文化創造都市の2大ビジョンを掲げ、各般の施策を推進しております。

とりわけ、急速に進むデジタル化やAIなどの登場により、将来の仕事の構造や働き方などへの大きな影響が想定される中、羅針盤のない未来を力強く生きるこどもたちをしっかりと育てることが、持続可能なまちづくりの礎になるものと考えております。このため、こどもたちが、これからの時代に必要とされる資質や能力を身に付けられるよう、今年度、市内全ての小中学校普通教室への電子黒板の導入に加え、音楽室や技術室など特別教室への導入も実現したところであります。

一方、まちづくりの面では、「歩くほど幸せになるまち」を中心市街地のグランドデザインのコンセプトに掲げ、中心市街地の活性化を積極的に進めております。中でも、先人が古くから守り続けてきた水路や料亭、蔵などを活用し、伝統と風情を感じながらそぞろ歩きができる飲食店街を目指した区画整備や、旧料亭のリノベーション、旧「大沼」デパート周辺エリア一帯の再開発、市立病院「済生館」や市民会館の改築など、100年に一度の県都の大改造とも言うべき市街地での大規模プロジェクトを推進しております。

近年、2050年までに全国1,729自治体の約4割は消滅可能性があるという話題になり、危機感を募らせている中、急速にこうした都市機能の充実を図ることが、基礎自治体の発展はもとより、周辺自治体を含む広域圏での持続可能なまちづくりに資するものと考えております。

このようなまちづくりを全国各地で進めていくためには、都道府県全体の発展を俯瞰した視点で捉え、御活躍いただいている都道府県議会の皆様の御理解と御支援が不可欠でありますので、今後とも倍旧の御支援をたまわりますようお願い申し上げます。

皆様をお迎えした山形市は、蔵王や山寺など豊かな自然を有する観光地や文化にあふれるまちでございます。また、ラ・フランスやりんごなどの果物をはじめ、そばや日本酒、芋煮など食文化も豊富でございますので、皆様には、この機会に山形の魅力を十分に御堪能いただきたいと思います。

結びに、全国都道府県議会議長会のますますの御発展と、皆様方の更なる御活躍を心から御祈念申し上げ、歓迎の言葉といたします。

令和6年10月31日。山形市長、佐藤孝弘。

代読でございます。

本日は誠にありがとうございます。（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）ありがとうございました。

祝 辞

（１）内閣総理大臣

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、祝辞でございます。

まず、石破内閣総理大臣からのメッセージを副会長の丸井裕青森県議会議長に御披露いただきたいと存じます。

丸井議長、よろしくお願いいたします。

○青森県議会議長（丸井 裕君）メッセージを代読させていただきます。

第179回全国都道府県議会議長会定例総会が、本日、盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

永い友人である山本徹富山県議会議長が会長を務める都道府県議会議長会の皆様には、日頃から、地域社会の発展や住民福祉の向上に取り組んでいただいておりますことに、心から御礼を申し上げます。

本年も、能登半島での地震や豪雨など、各地で自然災害が相次いでおります。被災地のニーズや被害者の方々の声をよく踏まえながら、早期の復旧と復興に向けた対応に万全を期すとともに、平時からの備えであります事前防災の強化を進めてまいります。

石破内閣は、「地方を守る」政権です。地域そのものが消滅する、いわば「静かな有事」が起きている中、地方創生をめぐる、これまでの成果と反省を活かし、次の10年間で「地方創生2.0」として再起動することで、持てる潜在力を最大限に引き出し、日本全体を創生いたします。

また、「経済あつての財政」との大方針の下、「賃上げと投資が牽引する成長

型経済」を実現するため、「物価高の克服」、「日本経済・地方経済の成長」、「国民の安心・安全の確保」を柱とする経済対策を速やかに取りまとめてまいります。

今後とも、都道府県の皆様とよく連携して、国民の皆様の納得と共感をいただきながら、全ての人に安心と安全をもたらす社会を実現し、豊かな日本を再構築するという強い覚悟の下、日本の未来を創り、守り抜いてまいります。

結びに、全国都道府県議会議長会のますますの御発展と、本日御列席の皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

令和6年10月31日。内閣総理大臣、石破茂。

代読でございました。（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）ありがとうございました。

（２）総 務 大 臣

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、村上総務大臣から、御祝辞を頂戴したいと存じます。

本日は、代理として原邦彰総務審議官に御出席いただいております。

原総務審議官、よろしくお願いいたします。

○総務審議官（原 邦彰君）御紹介いただきました、総務審議官の原と申します。

村上総務大臣が他の公務により出席ができません。大臣から祝辞を預かってまいりましたので、代読させていただきます。

第179回全国都道府県議会議長会定例総会の開催に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

まず、能登半島での地震や大雨、山形県での7月の豪雨災害をはじめ、各地で発生した災害により亡くなられた方、被害を受けられた皆様方に、心からお悔やみとお見舞い申し上げます。

また、各自治体におかれましては、発災直後から緊急消防援助隊としての消防職員や応援職員を派遣していただくとともに、被災地の復旧・復興に向けて、短期から中長期の職員派遣に御協力いただき、感謝申し上げます。

総務省といたしましても、復旧・復興に向け、支援の取組をしっかりと進めてまいります。

さて、自治体におかれましては、地域経済の好循環と持続可能な地域社会の実現が期待されており、地方行財政基盤の確立が大変重要であると認識しています。

D XやG Xの推進、こども・子育て政策の強化、医療や介護、民間の賃上げ等に伴い必要となる対応をしっかりと進めていくため、令和7年度以降も、必要な一般財源総額の確保にしっかりと取り組んでまいります。

地方税については、充実確保を図るとともに、税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に取り組んでまいります。

本年末の税制改正プロセスにおきましても、地方税財源の確保に、力強い御支援をたまわりますよう、お願い申し上げます。

地方自治制度については、地方制度調査会答申を踏まえ、D Xの進展への対応や地域の多様な主体の連携・協働の推進、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態における国と地方との関係の特例等を内容とする地方自治法の改正案が、先の通常国会で成立し、一部を除き本年9月に施行されたところです。改正趣旨等について、引き続き丁寧に説明を行ってまいります。

D X推進の基盤となるマイナンバーカードについては、自治体の皆様の御尽力等により、国民の4分の3が保有しております。今後とも国民の皆様が円滑に取得できる環境の整備を進め、利活用の拡充も図ってまいります。

自治体情報システムの標準化を進めるため、これまで約7,000億円の国費により支援しており、令和8年度以降の財政支援も自治体の御意見も踏まえながら検討してまいります。加えて、自治体における計画的なデジタル人材の確保・育成の促進や、都道府県と市町村等が連携した推進体制の構築を強力に支援してまいります。

地域D Xの推進を支える情報通信環境を整備するため、5 G基地局の都市・地域での一体的整備や地域における光ファイバの整備及び維持などに取り組んでまいります。

また、地方への人の流れを創出し、地域経済循環の拡大を図るため、地域おこし協力隊や地域活性化起業人の拡充等の各種施策を推進してまいります。

消防については、緊急消防援助隊や常備消防の充実強化、消防団を中核とした

地域防災力の向上に全力を挙げるとともに、消防防災力の充実強化を図るため、DXを推進してまいります。

行政相談による被災者支援については、平時から、自治体との連携強化に取り組んでまいります。

活力ある地方議会の創出に向けては、多様な人材が参画し、住民に開かれた議会の実現や政治意識の向上が重要です。

総務省としても、議長会の皆様と連携しながら、各議会の取組事例の情報提供や、主権者教育の取組の充実等を図ってまいります。

あらためまして、都道府県議会議長の皆様方におかれましては、日頃より、地方自治発展のために御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

総務省といたしましても、現場の声にしっかりと耳を傾け、必要な施策をひとつひとつ着実に進めてまいります。

結びに、全国都道府県議会議長会のますますの御発展と、御臨席の皆様の御活躍をお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

令和6年10月31日。総務大臣、村上誠一郎。

代読でございます。

本日は誠にありがとうございます。（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）ありがとうございました。

祝 電

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、参議院議長から祝電を頂戴しておりますので、御披露申し上げます。

第179回全国都道府県議会議長会定例総会の御盛会をお慶び申し上げます。

激甚化・頻発化の傾向が強まる自然災害に加え、人口減少の克服に向けた対策など、多くの課題に取り組みつつ、地方創生の推進と住民福祉の向上に精励されている皆様方に、心からの敬意を表します。都道府県議会を代表される皆様方が一堂に会し、多様な御経験を共有しながら、地域間のつながりを強固にされますことは、誠に意義深いことと存じます。

本日の総会の御成功と皆様方のますますの御健勝を祈念いたしますとともに、地方自治の発展のため、引き続き御尽力たまわりますようお願い申し上げます。

参議院議長、尾辻秀久様。

以上でございます。

ここで、吉村山形県知事、高倉山形市副市長及び原総務審議官におかれては、公務のため退席されます。

本日は、御多忙のところ誠にありがとうございました。

拍手をもってお送りいただきたいと存じます。

〔吉村知事、高倉副市長、原総務審議官 退席〕（拍手）

自治功労者表彰

（１）会長あいさつ

○全国議長会事務総長（高原 剛君） それでは、ただいまから、自治功労者表彰を行います。

はじめに、山本会長から、ごあいさつを申し上げます。

○全国議長会会長（山本 徹君） 自治功労者の皆様の表彰を執り行うに当たりまして、一言、お慶びのごあいさつを申し上げます。

本日、栄えある表彰を受章されます皆様は、議長在職５年以上の特別功労の中本広島県議会議長と、都道府県議会議員として長きにわたり御活躍してこられた、永年勤続功労の144名の方々でございます。

本日の総会には、議員在職30年以上の受章者7名の方々のうち、猫田岐阜県議会議員、瓜生福島県議会議員、北岡京都府議会議員にお越しいただきました。

皆様の住民福祉の向上と地方自治の発展への多大なる御尽力に感謝申し上げ、その御功績をたたえますとともに、御活躍を支えてられました御家族の皆様にあらためて深く敬意を表する次第でございます。

想定を上回るスピードで進行する人口減少など、地域社会を取り巻く環境が厳しさを増す中で、私ども都道府県議会議員は、住民自治の根幹をなす地方議会として、多くの住民の声を集約し、地域の実情に応じた施策に反映させていく責務

を負っております。

皆様におかれましては、今後とも、健康に十分留意されまして、これまでの豊かな御経験を生かし、地域の発展と地方自治の確立のため、なお一層の御尽力、御指導をたまわりますよう、心からお願い申し上げ、お祝いのごあいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）本日御出席いただいております議長在職5年以上の特別功労者及び議員在職30年以上の永年勤続功労者の皆様に対しては、お1人ずつ、山本会長から、表彰状、記念品を授与いたします。

また、議員在職10年以上から25年以上までの受章者の方々については、代表者お1人に、授与いたします。

それでは、山本会長は演台の前に御移動をお願いします。

受章者の皆様のお名前を順番にお呼びしますので、壇上へお進みください。

（２）表 彰 状 授 与

○全国議長会事務総長（高原 剛君）まず、特別功労者の表彰を行います。

広島県議会議員、中本隆志殿。

○全国議長会会長（山本 徹君）

表 彰 状

中 本 隆 志 殿

あなたは広島県議会議員として在職五年以上に及び地方自治の発展に努力された功績は誠に顕著であります

よってここにその功労をたたえ表彰します

令和六年十月三十一日

全国都道府県議会議員会長

〔山本会長、広島県議会議員 中本隆志君に表彰状、記念品を授与〕（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、永年勤続功労者の表彰を行います。

まず、議員在職50年以上の方でございます。

岐阜県議会議員、猫田孝殿。

○全国議長会会長（山本 徹君）

表 彰 状

猫 田 孝 殿

あなたは岐阜県議会議員として在職五十年以上に及び地方自治の発展に努力された功績は誠に顕著であります

よってここにその功労をたたえ表彰します

令和六年十月三十一日

全国都道府県議会議長会

〔山本会長、岐阜県議会議員 猫田孝君に表彰状、記念品を授与〕（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、議員在職35年以上の方でございます。

福島県議会議員、瓜生信一郎殿。

○全国議長会会長（山本 徹君）

表 彰 状

瓜 生 信一郎 殿

あなたは福島県議会議員として在職三十五年以上に及び地方自治の発展に努力された功績は誠に顕著であります

よってここにその功労をたたえ表彰します

令和六年十月三十一日

全国都道府県議会議長会

〔山本会長、福島県議会議員 瓜生信一郎君に表彰状、記念品を授与〕（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、議員在職30年以上の方でございます。

京都府議会議員、北岡千はる殿。

○全国議長会会長（山本 徹君）

表 彰 状

北 岡 千はる 殿

あなたは京都府議会議員として在職三十年以上に及び地方自治の発展に努力された功績は誠に顕著であります

よってここにその功労をたたえ表彰します

令和六年十月三十一日

全国都道府県議会議長会

〔山本会長、京都府議会議員 北岡千はる君に表彰状、記念品を授与〕（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）次に、議員在職10年以上から25年以上までの方の受章者は合計137名でございますが、代表して、工藤大輔岩手県議会議長に表彰状の授与を行いたいと存じます。

工藤議長は、壇上へお進みいただきますようお願いいたします。

○全国議長会会長（山本 徹君）

表 彰 状

工 藤 大 輔 殿

あなたは岩手県議会議員として在職二十五年以上に及び地方自治の発展に努力された功績は誠に顕著であります

よってここにその功労をたたえ表彰します

令和六年十月三十一日

全国都道府県議会議長会

〔山本会長、岩手県議会議長 工藤大輔君に表彰状、記念品を授与〕（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）山本会長はお席にお戻りいただきますようお願いいたします。

それでは、本日の受章者全員を代表し、岐阜県議会議員、猫田孝様からごあいさつをいただきます。

猫田議員、よろしくをお願いいたします。

〔岐阜県議会議員 猫田 孝君 登壇〕

○岐阜県議会議員（猫田 孝君）ただいま御紹介いただきました、岐阜県議会議員の猫田孝でございます。

この度、第179回全国都道府県議会議長会定例総会におきまして、私どもは永年勤続功労者の表彰をたまわりました。大変光栄なことであり、関係の皆様にご心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、私が初当選したのは昭和49年の補欠選挙で、34歳でございました。当時の日本は、オイルショックに端を発した資源不足や、急激な物価高騰などにより、経済の安定化が叫ばれた頃でした。また、高度成長期と並行し、環境問題や社会保障、福祉など、ハードからソフトへと国民の関心が急激に高まった頃でもあり、現在につながる時代の大きな転換期でありました。

振り返りますと、いろいろなことがありました。一番は議員野球全国大会で、当時は国民体育大会協賛で毎年8月に開催され、47都道府県が全て参加し、大変盛大でありました。私も高校球児でしたので、ピッチャーとして昭和51年から5年連続で優勝させていただき、二刀流で大活躍したのが大変大きな思い出となっております。

そして、平成17年のいわゆる郵政選挙では、党本部の方針に反し法案に反対したため公認を得られなかった3人の衆議院議員を、県連幹事長の立場で独断で県連公認とし、1年間離党いたしました。その時に、同僚議員から県政自民クラブの議員会長に推挙され、1年間楽しく議員活動を行うことができ、その友情には今でも感謝しております。

私はこの間、治水、教育、福祉を活動のテーマにし、この3つが充実することが安全・安心で暮らしやすいまちづくりにつながるとの信念の下、県民の声を聞きながら、県や市町村とともに様々な課題に取り組んでまいりました。そして、約20年間一貫して取り組んできた東海環状自動車道の整備促進については、全線開通まであと2年になり、東海3県にもたらす経済効果は計り知れません。

最近では、社会経済の広域化や、グローバル化の進展、また、脱炭素やDX、SDGsなど、キーワードを並べればきりがなほど多くの課題が山積しております。これまでに培ってきた経験と知識を発揮していくことが、長年議員をやってきた我々に課せられた使命だと思っております。

今後とも相変わらぬ御指導をいただきながら、一層精進してまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと存じます。

最後になりましたが、各都道府県議会のますますの御発展と、本日お集まりの皆様への御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。（拍手）

○全国議長会事務総長（高原 剛君）ありがとうございました。

以上をもちまして、自治功労者の表彰を終わります。

○全国議長会事務局 受章者の皆様に御連絡いたします。

これより、山本会長、開催地議会である山形県議会の森田議長、受章者の皆様による記念撮影を5階写真室で行います。

本会職員の案内によりエレベーターで御移動いただきます。よろしくお願いいたします。
たします。その際、表彰状、記念品については、御所属の議会事務局職員にお預
けください。

それでは、御移動をお願いします。その他の皆様におかれましては、今しばらく
お待ちください。

お待たせいたしました。それでは、休憩とさせていただきます。再開は、午後
3時10分頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

○山形県議会事務局 山形県議会事務局から御案内いたします。

総会の会場前では、山形県の観光PRを行っております。山形の名産品である
ラ・フランスやお菓子のほか、山形を代表する銘酒などの販売、また、山形の旬
の味覚を地元に戻られてから注文できるようにカタログも御用意しておりますの
で、どうぞお立ち寄りください。

(午後2時54分 休憩)

(午後3時10分 再開)

○全国議長会事務総長(高原 剛君) それでは、定例総会を再開いたします。

新任正副議長紹介

○全国議長会事務総長(高原 剛君) まず、新任正副議長の紹介でございます。

去る7月24日開催の第178回定例総会以降に御就任されました正副議長は、参考
資料の「新任正副議長名簿」のとおりですが、このうち、本日御出席の議長を御
紹介申し上げます。

大分県議会議長、嶋幸一さんです。

○大分県議会議長(嶋 幸一君) 嶋幸一でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
(拍手)

○全国議長会事務総長(高原 剛君) 御紹介は以上でございます。

本定例総会の議長、副議長につきましては、本会会則第16条に基づき、開催ブ
ロックであらかじめ互選することとされており、北海道東北ブロック議長会議の
協議により、総会議長は森田廣山形県議会議長に、総会副議長は丸井裕青森県議

会議長に、それぞれ決定されております。

森田議長は、どうぞ総会議長席にお着き願います。

これ以降の議事は、総会議長にお願いいたします。

〔山形県議会議長 森田 廣君 総会議長席へ移動〕

議 事

（１）議案審議

○総会議長（森田 廣君）総会議長の職を務めることになりました山形県議会議長の森田廣でございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。（拍手）

これより、議案の審議に入ります。

決議案説明、採決

○総会議長（森田 廣君）まず、役員会から提出された決議案を議題といたします。

今回は、「人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議（案）」など６件であります。

６件の決議案の趣旨について、富原亮北海道議会議長に、御説明をお願いすることといたします。

○北海道議会議長（富原 亮君）北海道議会議長、富原亮でございます。

役員会提出決議案６件について、主な内容を御説明します。

議事資料１－１を御覧願います。

まず、２ページの「人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議（案）」は、地方創生１０年を迎え、なお人口減少などに歯止めがかかっていない状況を一刻も早く解消するため、国・地方が総力を挙げて、従来の発想を超えた大胆な施策に取り組む必要があるとし、人口減少問題に国・地方が戦略的に取り組むための司令塔となる組織や体制の整備、少子化対策に係る経済的支

援について地方公共団体の財政力による格差が生じないように、国の責任において全国一律で実施することなどを求めるものです。

次に、3ページの「地域経済の持続的な成長の実現に関する決議（案）」は、日本経済は、賃金と物価の好循環が回り始め、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しており、こうした動きを更に加速させるためにも、新たな経済対策に基づき、地域の実情に十分配慮した物価高騰対策の実施や物価上昇に負けない持続的・構造的な賃上げを促進する税財政上の支援などを求めるものです。

次に、4ページの「地方税財源の充実確保に関する決議（案）」は、少子化、物価高騰などへの対応により今後も地方の財政支出が一層拡大すると見込まれることから、物価高騰対策への財政措置や地方一般財源総額の充実・確保などを求めるものです。

次に、5ページの「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化に関する決議（案）」は、能登半島で地震や豪雨による複合災害に見舞われるなど、自然災害が頻発、激甚化していることから、防災・減災対策等を推進するための安定的な予算確保などを求めるものです。

次に、6ページの「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議（案）」は、議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育の一層の推進や立候補に伴う企業等による休暇を保障し、不利益な取扱いを禁止するための法改正、厚生年金への地方議会議員の加入の実現などを求めるものです。

最後に、7ページの「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議（案）」は、国が前面に立ち、当該原発の廃止措置に向けた取組を安全かつ着実に進めることなどを求めるものです。

以上でございます。

○総会議長（森田 廣君） 富原議長、ありがとうございました。

ここで、事務総長から報告があります。

○全国議長会事務総長（高原 剛君） 6ページの「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議（案）」についてでございます。

10月24日の役員会での審議に際し、中井大阪府議会副議長、齊藤埼玉県議会議長から、厚生年金への地方議会議員の加入の部分に反対する旨の発言がありました。

また、本日の審議に際して、御欠席の中谷大阪府議会議長から、大阪府議会では、令和元年10月に、地方議会議員の厚生年金加入は、全国自治体に多額の公費負担をもたらすこと、また、地方議会における多様な人材の参画や議員のなり手不足の解消という課題とは別次元の問題であるとの考え方から、地方議会議員の厚生年金加入に反対する意見書を全会一致で可決しているため、地方議会に関する決議案の前文及び項目のうち、厚生年金への地方議会議員の加入の部分に反対である旨の意見が文書で提出されておりますので、御報告いたします。

○総会議長（森田 廣君）ただいま、富原議長から御説明、事務総長から報告がありました。本件について、御質疑、御意見がございましたら、御発言願います。

（「なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）それでは、その他御発言もないようですので、お諮りいたします。

今回提出された6件の決議案については、一部の決議案について反対の御意見もございましたが、いずれも原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）御異議がございませんので、そのように決定いたします。

提言案に係る各委員会審査結果報告、採決

○総会議長（森田 廣君）次に、委員会から提出された「令和7年度政府予算編成に関する提言案」を議題といたします。

まず、10月24日開催の委員会における提言案の審査の経過並びに結果について、順次御登壇の上、御報告をお願いします。

はじめに、地方自治委員会委員長の鈴木太雄和歌山県議会議長をお願いします。

〔和歌山県議会議長 鈴木 太雄君 登壇〕

○和歌山県議会議長（鈴木 太雄君）地方自治委員会委員長の和歌山県議会議長、

鈴木太雄です。

委員会の審査経過と結果について御報告します。

委員会では、総務省から「総務省重点施策2025」について説明を聴取したのち、議案を審査した結果、全て原案のとおり本日の総会に提出することと決定しました。

以下、主な事項を御説明します。

「地方創生の推進について」は、企業や大学の地方移転の推進や地方創生に係る交付金の大幅な拡充。

次に、「地方税財源の充実強化について」は、物価高騰対策への対応や、安定的な財政運営に必要な一般財源総額の充実確保。

次に、「多様な人材が議会に参画するための環境整備等について」は、主権者教育の推進や、育児・介護等と議員活動の両立支援のために議会が行う取組等への支援。

この他、地方分権改革の推進、デジタル社会の実現に向けた取組の推進、災害対策の充実強化、ロシアのウクライナ侵略への対応及び避難民への支援、外国人材の活躍の推進や受入れ体制の強化、基地対策、北朝鮮のミサイル問題及び日本人拉致問題の早期解決、北方領土の早期返還、竹島の領土権確立、尖閣諸島問題等の解決、参議院議員選挙における合区の早期解消、刑事訴訟法の再審規定の改正となっております。

なお、「多様な人材が議会に参画するための環境整備等」に記載の、厚生年金への地方議会議員の加入の箇所については、齊藤埼玉県議会議長から削除を求める旨の御意見がありました。

また、「地方税財源の充実強化」に記載の、ゴルフ場利用税の現行制度の堅持については、善田石川県議会議長から、県内のゴルフ場関係団体より廃止を求める声が寄せられていることをお伝えする旨の御発言がありましたので、併せて御報告いたします。

以上で報告を終わります。

○総会議長（森田 廣君）鈴木議長、どうもありがとうございました。

次に、社会文教委員会委員長の元木章生徳島県議会議長にお願いします。

〔徳島県議会議長 元木 章生君 登壇〕

○徳島県議会議長（元木 章生君）社会文教委員会委員長の徳島県議会議長、元木章生です。

委員会の審査経過と結果について御報告します。

委員会では、文部科学省から「教師を取り巻く環境整備」について説明を聴取したのち、議案を審査した結果、全て原案のとおり本日の総会に提出することと決定しました。

以下、主な事項を御説明します。

「少子化対策・子育て支援の抜本的強化」は、社会全体で子育てを支援する総合的な少子化対策の推進、中長期的に対策を推進するための安定的な財源確保、国が全国一律で行うこども政策の強化に伴い生ずる地方負担の財源確保。

「地域医療提供体制の強化」は、臨時的な医学部定員増の継続、医師不足地域への医師の派遣や特定診療科の処遇改善。

「介護職員の確保」は、介護従事者の賃金などの処遇改善。

「障害者施策の推進」は、地域生活支援事業及び障害者福祉施設整備への財政支援。

「包摂社会の実現に向けた取組」は、孤独・孤立対策の強化、女性活躍に係る支援、認知症施策の推進。

「教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組」は、給特法の改正を含めた教員の抜本的な処遇改善、教職員の安定的・計画的な配置に係る財源措置、各種加配の充実。

「国際リニアコライダーの実現」は、I L C計画の実現に向けた取組の推進。

「世界遺産の登録に向けた取組の推進」は、世界遺産登録の取組と保護措置への財政支援となっております。

以上で報告を終わります。

○総会議長（森田 廣君）元木議長、どうもありがとうございました。

次に、経済産業環境委員会副委員長の中島謙二島根県議会議長にお願いします。

〔島根県議会議長 中島 謙二君 登壇〕

○島根県議会議長（中島 謙二君）経済産業環境委員会副委員長の島根県議会議長、中島謙二です。

委員長の松里鹿児島県議会議長が公務で欠席のため、私が代わって、委員会の

審査経過と結果について御報告します。

委員会では、中小企業庁から「中小企業支援に関する施策」について説明を聴取したのち、議案を審査した結果、全て原案のとおり本日の総会に提出することと決定しました。

以下、主な事項を御説明します。

「地域経済の持続的な成長の実現」は、物価高騰対策の継続、電気・ガス料金の負担軽減措置の延長、持続的・構造的な賃金引き上げの実現。

「エネルギーの安定供給確保及び脱炭素社会の実現」は、送配電網の強化をはじめとするエネルギーインフラの整備や、洋上風力や太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大。

「企業の地方移転と雇用創出の推進について」は、企業の地方移転及び地方にある企業の機能強化に対する支援や成長産業などの地方における産業立地、人材育成等に関する支援強化。

「中小企業・小規模事業者支援の充実強化等」は、事業者の価格転嫁の促進や賃上げ環境の整備、リ・スキリングなど「人への投資」の充実。

「生活環境保全対策の推進」は、プラスチックごみ対策や鳥獣被害防止対策の推進などとなっております。

以上で報告を終わります。

○総会議長（森田 廣君）中島議長、どうもありがとうございました。

次に、国土交通委員会委員長の北林丈正秋田県議会議長にお願いします。

〔秋田県議会議長 北林 丈正君 登壇〕

○秋田県議会議長（北林 丈正君）国土交通委員会委員長の秋田県議会議長、北林丈正です。

委員会の審査経過と結果について御報告します。

委員会では、国土交通省から、「地域公共交通の維持に関する施策」について説明を聴取したのち、議案を審査した結果、全て原案のとおり、本日の総会に提出することと決定しました。

以下、主な事項を御説明します。

「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化について」は、社会資本の耐震化など事前防災対策の推進、流域治水の取組や内水氾濫への対策に対する支援の充実。

「観光の更なる活性化の推進について」は、ワーケーション等の新たなニーズにも対応した観光需要喚起策の充実、インバウンドの回復、拡大に向けた取組の推進。

「道路の整備促進について」は、高速道路や地域高規格道路などの整備促進。

「鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持等について」は、新幹線の整備促進、地域鉄道の維持に必要な支援の充実。

「空港、港湾の整備促進について」は、空港の機能強化、港湾の整備促進。

「物流業及び建設業の人材確保等について」は、トラックドライバー等の賃金水準向上や安心して働ける環境整備の推進。

「特定地域振興対策等の推進について」は、離島振興、豪雪地帯対策の充実となっております。

以上で報告を終わります。

○総会議長（森田 廣君）北林議長、どうもありがとうございました。

最後に、農林水産委員会委員長の柳下剛神奈川県議会議長にお願いします。

〔神奈川県議会議長 柳下 剛君 登壇〕

○神奈川県議会議長（柳下 剛君）農林水産委員会委員長の神奈川県議会議長、柳下剛です。

委員会の審査経過と結果について御報告します。

委員会では、農林水産省から「生産資材の確保・安定供給のための取組」について説明を聴取したのち、議案を審査した結果、全て原案のとおり本日の総会に提出することと決定しました。

以下、主な事項を御説明します。

「食料安全保障の強化について」は合理的な価格形成のための仕組みの法制化等、農林水産事業者が安定的な経営を展開できる環境整備の推進、肥料・飼料などの安定的な供給体制整備の強化。

次に、「農業の持続可能な成長を実現するための取組の推進について」は農業の多様な担い手の確保・育成、農業農村整備に関する予算の確保、農林水産物等の輸出促進の取組強化。

また、「食の安全・安心を確保する制度の拡充強化について」は家畜伝染病の感染拡大を防止するための体制強化。

さらに、「森林吸収源対策及び林業・木材産業の成長発展について」は森林整備事業及び治山事業の予算確保、国産材の需要拡大に向けた利活用の推進。

最後に、「水産資源の安定的な確保及び漁業経営の強化について」は漁場・漁港整備など水産基盤整備の計画的かつ着実な推進、違法操業の監視及び取締りの充実強化となっております。

以上で報告を終わります。

○総会議長（森田 廣君）柳下議長、どうもありがとうございました。

以上で、委員会における提言案の審査の経過並びに結果についての報告は終わりました。

ここで、事務総長から報告があります。

○全国議長会事務総長（高原 剛君）地方自治委員会の提言事項である4ページの「多様な人材が議会に参画するための環境整備等について」の5ページ（3）の厚生年金への地方議会議員の加入の部分については、大阪府議会から、10月24日の役員会では中井副議長からの御発言で、本日の審議に際しては中谷議長からの文書により、決議と同様の趣旨で反対する旨の意見がありましたので、御報告いたします。

○総会議長（森田 廣君）ただいま、各委員会から御報告、事務総長から報告がありました。本件について、御質疑、御意見がございましたら、御発言願います。

（「なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）それでは、御発言もないようですので、お諮りいたします。

地方自治委員会提出の提言案の一部について、反対の御意見もございましたが、委員会から提出されました提言案は、いずれも原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）御異議がございませんので、そのように決定いたします。

なお、ただいま御決定いただきました決議については、役員のうち正副会長により、提言については各委員会正副委員長により、関係方面に要請活動を行うことといたします。

よろしく願いいたします。

(2) 令和7年に地方で開催する第182回定例総会 開催地の決定

○総会議長（森田 廣君）次に、令和7年に地方で開催する第182回定例総会の開催地についてお諮りいたします。

本件につきましては、役員会の協議に基づき、関東ブロックの神奈川県で開催することといたしたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）御異議がないものと認めます。

よって、第182回定例総会は、関東ブロックの神奈川県で開催することに決定いたしました。

この際、柳下剛神奈川県議会議長から、ごあいさつを願うことといたします。

〔神奈川県議会議長 柳下 剛君 登壇〕

○神奈川県議会議長（柳下 剛君）神奈川県議会議長の柳下剛でございます。

来年秋の第182回定例総会につきまして、神奈川県での開催を御決定いただきましたので、一言ごあいさつを申し上げます。

まず、本日の定例総会の開催に当たり、御尽力いただきました森田廣議長をはじめ、山形県議会の皆様に心より御礼申し上げます。

さて、私ども神奈川県は、国際性豊かな大都市である横浜・川崎、歴史や文化に彩られた古都鎌倉や城下町小田原のほか、箱根や丹沢、大山の山並み、湘南の海など、豊かな自然にも恵まれています。

また、箱根駅伝では、スタートとゴールは東京都ありますが、大半の区間は神奈川県内を走り抜ける、開催地でもあります。

神奈川にお越しいただいた際には、様々な魅力あふれる神奈川の姿を感じていただけたら幸いです。

そして、2027年には、横浜において、最大級の規模の国際園芸博覧会である「GREEN×EXPO 2027」が開催されます。

来年の定例総会は、その横浜を会場として考えております。有意義な会議とな

りますよう、全国都道府県議会議長会の御支援をいただきながら、しっかりと準備してまいります。

最後になりますが、各都道府県議会のますますの御発展と、本日御出席の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、次の開催地の議長としてのごあいさつとさせていただきます。

来年の御来県を心よりお待ちしております。ありがとうございました。（拍手）

○総会議長（森田 廣君）ありがとうございました。

関東ブロック各議会の皆様、とりわけ神奈川県議会の関係者の皆様には、大変お世話になりますが、何とぞよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本定例総会の議事は全て終了いたしました。

報 告

（１）地方創生懇談会について

（２）第24回都道府県議会議員研究交流大会について

（３）主権者教育の推進について

（４）三議長会による厚生年金への地方議会議員の加入 を求める決議（素案）について

（５）標準傍聴規則及び議会個人情報保護条例（例）等 の改正について

○総会議長（森田 廣君）次は、報告事項でございます。

事務総長から報告いたします。

○全国議長会事務総長（高原 剛君）報告資料を御覧いただきたいと存じます。

まず、３ページを御覧いただきたいと存じます。地方創生懇談会のこれまでの経過及び今後のスケジュールなどについて御説明いたします。

地方創生懇談会は、去る７月24日、第178回定例総会の日に設置され、第１回目

を開催し、地方創生にかける思いなどについて委員間で意見交換を行いました。

9月4日に第2回を開催し、デジタル田園都市国家構想実現会議事務局から岩間浩内閣審議官にお越しいただき、国としての人口減少対策や地方創生に関する考え方などについて意見交換を行いました。

10月24日に第3回を開催し、こども家庭庁から竹林悟史審議官にお越しいただき、日本全体の根本的な少子化対策、自然減対策などについて意見交換を行いました。また、併せて同懇談会の提言案骨子についても御協議いただきました。

明日、11月1日には宮城県での視察を行い、12月には第4回の懇談会を開催し、提言の取りまとめを予定しております。

年明け、令和7年1月22日開催の第180回定例総会において、懇談会提言を基にした決議を決定し、政府、与党に要請を行うこととしております。

次に、報告資料の5ページを御覧いただきたいと存じます。11月12日に開催する24回目の都道府県議会議員研究交流大会についてでございます。

午前中は、「地方創生から10年 若者に選ばれ続ける地域づくり」と題して、地域・教育魅力化プラットフォームの水谷会長から御講演いただきます。

午後の第1分科会は「主権者教育の推進」がテーマでございます。パネリストについては、山形県議会の矢吹副議長と、茨城県議会の議員を御推薦いただきました。また、第2分科会のコーディネイターを務める慶應義塾大学の教授のゼミより、学生2名に御参加いただきます。なお、茨城県の石井議員には、本年3月に提言を取りまとめた「多様な人材が輝く議会のための懇談会」において、副座長として御参画いただきました。

第2分科会は「多様性のある地方議会の実現」がテーマでございます。パネリストについては、埼玉県議会の議員、岐阜県議会の議員、徳島県議会の議員を御推薦いただきました。なお、徳島県議会の岡田理絵議員と埼玉県議会の岡田静佳議員には、同じく「多様な人材が輝く議会のための懇談会」において、それぞれ座長と委員として御参画いただきました。

参加方法については、昨年同様、会場とオンラインのハイブリッド方式となります。昨年は会場に各都道府県7席を御用意しておりましたが、本年は席数を増やし、会場の広さに合わせ、10席を御用意いたします。オンライン参加者については、昨年同様、参加者数の制限はございません。

また、コロナ禍以前に行っていた大会終了後の交流会を5年ぶりに開催したいと考えております。各都道府県の議員に交流を深めていただければと思っております。

議員の皆様の出席について、よろしくお願ひしたい思います。

次に、報告資料の7ページでございます。主権者教育の推進についてでございます。

昨年4月の議会の役割や議員の職務等を定める地方自治法の改正、7月の本会創立100周年宣言などを踏まえ、地方議会に対する理解と関心を深め、多様な人材の参画を促すために、全国市議会議長会、全国町村議会議長会と連携して取り組んでまいっております。

主な取組は7ページに記載したとおり、総務大臣や文部科学大臣ほか、関係機関への要請活動や、「地方議会が進める主権者教育事例集」の作成などに取り組んでまいりました。

今後の主な取組としては、まず、8ページの上段の枠にあるとおり、三議長会が連携して、有識者の御意見をいただきながら、議会が主導して行う主権者教育用教材、リーフレットの作成を進めております。こどもたちに興味を持って手に取り、読んでもらえるよう、アニメのキャラクターを取り入れながら、地方議会や民主主義など、主権者として重要となる知識を紹介したいと思っております。リーフレットに文字を盛り込みすぎないように、議長会のホームページとのリンクを図り、クイズ形式の議会豆知識やデータ・法律の紹介をホームページで行い、興味を持ったこどもたちがより深い知識を得られるように工夫したいと思っております。

また、下段の枠に掲載したように、総務省と文部科学省が作成し、全ての高校1年生に毎年配付される主権者教育用副教材「私たちが拓く日本の未来」の今年度版作成に当たって、議長会から地方議会に係る地方自治法改正を受けた修正案を提出し、小さくて読みづらく申し訳ありませんが、真ん中及び右側の枠内の部分を付加していただきました。さらに、令和7年度版の発行に際して、「自治会など地域社会と関わり、地域の課題を見つけ議論することが重要であること」や「地方自治を通じて民主主義を学ぶことができること」などについて理解が進むよう修正案の提出を検討しております。

次に、報告資料の10ページでございます。

厚生年金への地方議会議員の加入に関しては、三議長会でそれぞれ決議し、要請活動を行っております。

今後、三議長会合同で要請活動を行うことを考えており、持参する決議案文の素案について、三議長会でこのような形で検討しているので報告いたします。

案文の内容については、先ほど御審議いただいた今回の決議の内容を踏まえ、今後、三議長会で取りまとめてまいります。

最後に、10月24日の役員会で御決定いただいた標準傍聴規則等の改正について御報告いたします。

まず、標準傍聴規則の改正について12ページを御覧いただきたいと存じます。

本会では、昨年7月、開かれた議会の取組を推進するとともに、住民に議会の重要な役割についての理解を深めてもらうための取組の強化等を内容とする創立100周年宣言を行いました。

この宣言を踏まえ、会議の秩序保持を念頭に置きつつ、住民の傍聴の促進を図るため、傍聴席に入る際、そして入ってから守るべき事項などについて、規則第12条及び第13条を中心に見直しを行いました。

13ページのように、傍聴席に入ることができない者を定めた第12条では、社会情勢の変化を踏まえた文言等の整理統合や、児童・乳幼児が原則傍聴できないことを定めた規定の削除を行いました。また、傍聴人の守るべき事項を定めた第13条についても、文言等の整理統合を行うとともに、傍聴人のスマートフォン等の機器は音が鳴らないようにした上で、持ち込めることとする規定を新たに整備いたしました。

次に、標準会議規則の改正について14ページを御覧いただきたいと存じます。

9月に当時の加藤女性活躍・男女共同参画担当大臣から、会議規則中に、看護・配偶者の出産を欠席事由として明文化すること等について、要請がございました。

議会への多様な人材の参画の視点も踏まえ、看護・配偶者の出産を明文化する改正を行いました。既に、3分の1以上の都道府県で両事項が規定に加えられています。

次に、個人情報保護条例（例）の改正について、15ページを御覧いただきたい

と存じます。

刑法等が改正され、禁固、懲役が廃止され、拘禁刑が創設されることに伴い、議会個人情報保護条例においても、懲役を拘禁刑に改める改正を行う必要がございました。

また、マイナンバー法改正に伴って発生する条項ずれに対応する規定整理など、所要の改正を行いました。

報告は以上でございます。

○総会議長（森田 廣君）ただいまの報告に対し、御質疑、御意見がございましたら、御発言願います。

何かございますでしょうか。

（「なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）それでは、御発言もないようですので、次の日程に移ります。

そ の 他

○総会議長（森田 廣君）次に、日程9「その他」でございます。

この際、何か御発言はございますでしょうか。

（「なし」の声あり）

○総会議長（森田 廣君）以上をもちまして、本定例総会の議事は全て終了いたしました。

円滑な議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。（拍手）

地元議長あいさつ

○全国議長会事務総長（高原 剛君）最後に、森田廣議長から、ごあいさつをいただきます。

森田議長、よろしくお願いいたします。

○山形県会議長（森田 廣君）本日の定例総会は、皆様方の御協力により滞りな

く終了することができました。終始、熱心に御審議いただき、重要な議案を御決
議いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

この後、休憩をはさみまして講演を予定しております。

講師は、株式会社SHONAI代表取締役の山中大介様です。

株式会社SHONAIは、私の地元山形県庄内地方を拠点に、地方都市の課題解決型
事業に取り組まれておられます。

山積する地域課題解決の御参考としていただければ幸いです。

本日は、皆様方から御協力をたまわりましたことに、あらためて感謝を申し上
げ、閉会のあいさつとさせていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。（拍手）

閉 会

○全国議長会事務総長（高原 剛君）以上をもちまして、第179回全国都道府県議会
議長会定例総会を閉会いたします。

皆様、長時間にわたり誠にありがとうございました。（拍手）

（午後 3 時59分 総会閉会）

（午後 4 時14分 講演開始）